

クリスマスの ものがたり 物語

アビー・ラーキンス



はるかむかし、天使がマリヤという
わかい女性のもとをおとすれました。



天使はマリヤに、イエスという名前の赤ちゃんを産むこと、
そしてイエスは世の救い主になることをつげました。



マリヤはイエス様をぬのてくるみ、
温かくて安全でいられるようにしました。



天使が羊飼いたちをおとすれ、よろこばしい知らせをつげました。
救い主があらわれたのです！



マリヤは出産する前に、夫のヨセフとともに
ベツレヘムへ旅をしました。



ベツレヘムに着いたとき、
客間に空いている部屋はありませんでした。



羊飼いたちは急いで馬小屋に行き、
飼葉おけにねておられる幼子イエスを見つけました。



羊飼いたちはとても幸せでした！ 羊飼いたちは行って、
人々にイエス・キリストがお生まれになったことを伝えました。



その夜、空に新しい星が
あらわれました。



イエス様がお生まれになったとき、マリヤはイエス様を飼葉おけの中^{なか}にねかせました。



わたしたちも、クリスマスの時季に、そしていつでも、イエス様の誕生という良い知らせを分かち合うことができます。

イラストレーター